

2024年(令和6年)

1 / 25

No. 1288

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03)3359-6251(代表)

☎(03)3359-4134(総務部広報・情報G)

《ホームページアドレス》<https://www.totokyo.or.jp/>



浅井会長

企業活動はかつての勢いを取り戻しました。しかし、トラック輸送の燃料価格の高騰とその後の

令和6年の新春にあたり、東京トラック業界新年交歓会の主催者を代表として、新年のごあいさつを申し上げます。

まずは、元日に発生した石川県能登地方を震源とする地震と、翌2日に起こった羽田空港での旅客機と海上保安庁の航空機との衝突事故で被害に

まして、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかったことで経済が活性化し、国民生活や

を与えると思われ、自動車運転業務の時間外労働に対する罰則付き上限規制や、改正により厳格化された改善基準告示の適用を4月に控え、会員の皆様は、労働力の確保や輸送力の維持に苦慮

持続可能な物流の実現へ 労働条件改善が不可欠に

流を支えるための環境整備に向けた抜本的かつ、総合的な対策である「物流革新に向けた政策パッケージ」と、この中から特に即効性の高い施策を抽出した「物流革新緊急パッケージ」を相次いで

多様な運賃・料金の設定といった提言が検討会を通じて公表され、1月以降、所定の手続きを経て改正される予定です。

このように、政府や行政がトラック運送業界を全面的にバックアップす

「荷主・消費者の行動変容」「商慣行の見直し」を中心に、かつてないスピード感で課題の解決に当たっています。

また、トラック運送事業者の持続的な経営にとって重要な「標準的な運賃」や「標準運送約款」についても、荷主への存在価値や重要性は変わることなく、むしろ、より一層高まりを見せています。

とはいえ、トラック運送業界には、いまだ多くの課題があります。

生活と経済のライフラインである物流を決定して止めないためには、安全で安心なトラック輸送を

高止まりもあって需要が思うように伸びず、中小企業が大半を占めるトラック運送事業者は非常に厳しい経営環境に直面しました。

そして、今年はトラック運送業界に大きな影響

策定し、「物流の効率化」「荷主・消費者の行動変容」「商慣行の見直し」を中心に、かつてないスピード感で課題の解決に当たっています。

また、トラック運送事業者の持続的な経営にとって重要な「標準的な運賃」や「標準運送約款」についても、荷主への存在価値や重要性は変わることなく、むしろ、より一層高まりを見せています。

「物流の2024年問題」 業界の英知を結集し克服へ



東京都トラック協会(浅井隆会長)は1月12日、千代田区の帝国ホテル東京で令和5年度第4回理事会Web併用を開催した。年頭のあいさつに立った浅井会長は「物流の2024年問題」の年を迎え、「持続可能なトラック輸送の実現に向けて、陸上貨物輸送のプロフェッショナル集団である東ト協がその英知を結集し、乗り越えていく」と呼びかけた。

東ト協 5年度 理事会

同日は、能登半島地震などによる犠牲者に黙祷を捧げた後、理事会を開催。浅井会長はあいさつで、昨年の協会活動を振り返った上で、時間外労働規制に伴う「2024年問題」に言及。「運賃・料金の水準が思うように上がらない中、輸送力や運送収入の減少分をカバーしつつ、荷主や消費者の輸送ニーズにいかに応

理事定数などを削減へ 各支部割り当て数承認

「物流の効率化」「荷主・消費者の行動変容」「商慣行の見直し」を中心に、かつてないスピード感で課題の解決に当たっています。

また、トラック運送事業者の持続的な経営にとって重要な「標準的な運賃」や「標準運送約款」についても、荷主への存在価値や重要性は変わることなく、むしろ、より一層高まりを見せています。

同日は、能登半島地震などによる犠牲者に黙祷を捧げた後、理事会を開催。浅井会長はあいさつで、昨年の協会活動を振り返った上で、時間外労働規制に伴う「2024年問題」に言及。「運賃・料金の水準が思うように上がらない中、輸送力や運送収入の減少分をカバーしつつ、荷主や消費者の輸送ニーズにいかに応

また、6・7年度理事・監事・評議員の割り当てに関して審議・承認した。鎮目隆雄・森本勝也の5

「標準的な運賃・標準運送約款の見直しに向けた検討会」提言や、東ト協の6年度第45回「トラックドライバー・コンテスト」参加募集、「2024年問題」対応に向けた各種助成制度の拡充、能登半島地震に伴う支援物資輸送の状況について説明した。

なお、理事会に先立ち、東京都の運輸事業者向け燃料費高騰緊急対策事業(5年度後半分)の申請受付に関する説明が行わ

文部省要請への防止事故 安全確認徹底求める

東ト協は、1月5日付で全会員事業者に対し、運輸安全委員会・森本勝也委員長で「交通安全」対応に向けた各種助成制度の拡充、能登半島地震に伴う支援物資輸送の状況について説明した。

なお、理事会に先立ち、東京都の運輸事業者向け燃料費高騰緊急対策事業(5年度後半分)の申請受付に関する説明が行わ

氏と、支部長(カッコー内支部名)の坂田生子(港・菊池正浩(大田)・三村偉一郎(渋谷)・緋田政人(中野)・北澤聡(北)・佐久間恒好(練馬)・下川芳延(荒川)・高取言彦(深川)・鈴木貢(葛飾)・笠原史久(多摩)の10氏。

紙面あんない	
運輸審議会諮問「標準的な運賃」告示案	2
東ト協、児童絵画コンテスト表彰式	4
GEP「トップランナー賞」表彰式	4
東京トラック業界4団体・新年交歓会	5
東ト協 能登半島地震で支援物資輸送	6

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R20

燃料費高騰緊急対策・支援金

東京都
5年度後半分

2月19日まで
申請を受付中

東京都は、令和5年度後半分の「運輸事業者向け燃料費高騰緊急対策事業」の支援金について、2月19日まで申請受付(電子または郵送申請)を行っている。

昨年10月1日、今年3月31日における燃料費高騰分が対象。都内ナンバーの事業用車両1台当たり定額(緑ナンバー12万3000円、黒ナンバー18000円)を交付する。

今年度前半分の支援金03・4330・0701

申請方法は次の通り。

▽前半分の事業で申請済み/車両台数に変更がない場合
申請書のみ提出、車両台数に変更がある場合
申請書のほかに指定様式と増車分の車検証(記録事項または写し)を提出

▽前半分の事業で未申請の場合
申請書のほか、車検証など所定書類を提出(郵送申請のみ)

詳細は都市整備局ホームページを参照。

▽問い合わせ先
支援金コールセンター(03・4330・0701)



ポータルサイト
2次元コード

東ト協
5年度
児童絵画作品コンテスト表彰式



最優秀賞は市川葵衣さん
入賞の小学生20人を表彰

東京都トラック協会は1月21日、新たに改装した東ト総合会館7階大会議室で、令和5年度「トラックの日」児童絵画作品コンテスト表彰式を開催した。

表彰式は、入賞児童とその保護者などが出席して行われ、最優秀賞(東京運輸支局長賞)の市川葵衣さん(荒川区立尾久小学校)をはじめ、優秀賞・佳作入賞の児童16人(都合により4人欠席)に表彰状と副賞(書カード)を贈り、表彰した。

今年度コンテストには、市内の小学校などから505作品の応募があり、最優秀賞の市川さん(中央と尾崎支局長(右、浅井会長 左

り、児童絵画作品コンテスト選考小委員会での審査・選考の上、最優秀賞の東京運輸支局長賞(1点)をはじめ、優秀賞(低・中・高学年の部各3点の計9点)、佳作(10点)を決定した(入賞者・作品は1月10日号掲載)。

開催に当たり、あいさつに立った浅井隆会長は、まず、緑ナンバートラックが環境にやさしく、安全に荷物を運んでいることを説明した上で、「皆さんも交通ルールを守り、交通事故に遭わないように注意しながら、絵を描いたり、



最優秀賞の市川さん(中央と尾崎支局長(右、浅井会長 左

東ト協
5年度
GEP表彰式

環境・安全で大きな成果
重要施策として一層推進

東ト協は1月15日、東ト総合会館7階大会議室で、令和5年度「グリーン・エコプロジェクト(GEP)」表彰式を開催した。

表彰式では、他の模範となるGEP活動を実践し、顕著な成果を挙げた事業者7社に対して、浅井隆会長が「トップランナー賞」を授与し表彰した。

また、同賞に準ずる取り組みを行った4社に対して、環境委員長の竹内政司副会長が「環境委員長賞」を贈った。

同表彰は、平成21年度から実施しているもので、これまでに135社が受賞している。表彰式では、浅井会長が主催者あいさつを行い、「当業界にとって重要な課題である『環境と安全』への実践的、かつ効果的な対策として、GEPに取り組んでいる。これまでにCO₂排出量を約29万4000ト削減し、交通事故率も約3分の1に減少した」とその成果を強調。その上で、今後とも「東ト協の重要施策として、GEPを中心に環境対策を進めていきたい」と述べた。

引き続き、来賓として東京都環境局の戸井崎正弘社長が謝辞に立ち、「GEP活動を始めてから、社員の環境マインドが高まり、燃費の軽減、事故の軽減と良いことづくめで、これまで以上にGEPに尽力していきたい」と述べた。

表彰後、GEP事務局がトップランナー賞受賞各社の取り組みを紹介。また、都環境局環境改善部の吉迫武自動車環境課長が都の環境改善事業について説明した。

と述べた。

表彰後、GEP事務局がトップランナー賞受賞各社の取り組みを紹介。また、都環境局環境改善部の吉迫武自動車環境課長が都の環境改善事業について説明した。

【トップランナー賞】

三進(深川)▽新光運送(深川)▽スピン(多摩)▽ニューライン東京(墨田)▽ビーワントランスポート(多摩)▽舟津運送(中央)▽北斗システム輸送(板橋)

【環境委員長賞】

井門サービス(品川)▽千石運送(渋谷)▽成増運輸(板橋)▽日の丸商運(世田谷)



東ト協5年度GEP表彰式

トップランナー賞7社

運動や勉強を頑張るなど、素敵な大人になってください」と呼びかけた。

続いて、東運支局の尾崎行雄支局長が「皆さんが一生懸命に作品を描いてくれたことが、暮らしに必要なものを毎日運んでいるトラックのことを考えるきっかけとなり、交通安全と環境を大切にしてくれるのだと、トラック運送事業の関係者もうれしく感じている」と祝辞を述べた。

この後、各賞の表彰を行い、浅井会長がまず佳作入賞者を表彰した後、優秀賞については浅井会長が東ト協会長賞、鎮目隆雄副会長が広報・情報委員長賞、森本勝也副会長が運輸安全委員長賞をそれぞれ授与。最後に、東運支局の尾崎支局長が最優秀賞を贈り、表彰した。

最優秀賞の市川さんの作品は「環境にやさしいトラック」と花を描いたもの。司会のアナウンサーから「どのような願いを込めて絵を描きましたか」との質問に答え、「お花は大事なので、大切にすることを知ってもらいたくて」と話した。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

作品は「環境にやさしいトラック」と花を描いたもの。司会のアナウンサーから「どのような願いを込めて絵を描きましたか」との質問に答え、「お花は大事なので、大切にすることを知ってもらいたくて」と話した。

作品は「環境にやさしいトラック」と花を描いたもの。司会のアナウンサーから「どのような願いを込めて絵を描きましたか」との質問に答え、「お花は大事なので、大切にすることを知ってもらいたくて」と話した。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

作品は「環境にやさしいトラック」と花を描いたもの。司会のアナウンサーから「どのような願いを込めて絵を描きましたか」との質問に答え、「お花は大事なので、大切にすることを知ってもらいたくて」と話した。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

作品は「環境にやさしいトラック」と花を描いたもの。司会のアナウンサーから「どのような願いを込めて絵を描きましたか」との質問に答え、「お花は大事なので、大切にすることを知ってもらいたくて」と話した。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

作品は「環境にやさしいトラック」と花を描いたもの。司会のアナウンサーから「どのような願いを込めて絵を描きましたか」との質問に答え、「お花は大事なので、大切にすることを知ってもらいたくて」と話した。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

同コンテストは、東京都トラック交通遺児等助成財団との共催、東京運輸支局・東京都教育委員会・NPO法人東京都子ども会連合会の後援、Tokyo of mの協力により開催。

寄附

東京都トラック交通遺児等助成財団に、次の方から寄附がありました。

◇上松輸送(株)(上松利充代表取締役) 写真提供は浅井隆会長に寄附金を贈呈する上松氏(右)

協会日誌

【1月15日】

4日 仕事始め

9日 引越専門部会引越管理者講習

10日 運転業務に関わる眼疾患セミナー

12日 正副会長会▽理事会▽東京トラック業界新年交歓会

15日 グリーン・エコプロジェクト表彰式▽青年部正副本部長会

日程ボード

【2月15日】

1日(木) 13時30分 第1回労務講習会(東ト総合会館/Web併用)

2日(金) 13時30分 第2回労務講習会(東ト総合会館)

3日(土) 8時50分 運行管理者事前講習会(東ト総合会館)

6日(火) 16時 三組組合同セミナー(明治記念館)▽17時45分 同新年会(同)

7日(水) 13時30分 物流経営士課程(東ト総合会館)

8日(木) 13時30分 第3回労務講習会(東ト総合会館)

9日(金) 13時30分 第4回労務講習会(東ト総合会館)▽15時30分 支部事務局事務長会議(吉池温泉)

健康起因事故防止へ
東ト協
脳血管疾患セミナー

東ト協は2月26日、「健康起因事故防止(脳血管疾患)セミナー」を開催する。時間は午後1時30分～4時で、会場(東ト総合会館4階会議室)およびWeb受講(Zoom視聴)により開催。

受講対象は会員事業者の経営者や管理者、人事労務担当者。定員は会場受講が40人、Web受講が400人(それぞれ先着順)。

セミナーでは、講師の運輸従事者脳MRI健診支援機構・野口一郎業務部長が「健康起因による事故撲滅を目指して」脳MRI健診の重要性について」と題して講演する。

申し込みは、東ト協ホームページから行う。

▽問い合わせ先 東ト協業務部交通・環境G(03・3359・6257)

お悔やみ
申し上げます

元中央支部長
永井氏が死去



東ト協 元中央支部長の永井寛泰氏(ギンテック元社長)が令和5年12月29日、死去した。享年82歳だった。告別式は1月6日、練馬区のインマヌエル新生教会で執り行われた。

同氏は評議員(平成10

中村 正義氏(木村運送代表取締役社長・多摩支部)1月6日、死去。85歳。通夜は1月15日、告別式は翌16日、府中市の府中の森市民聖苑で執り行われた。喪主は長女、大平ゆかり氏。

東京トラック業界 新年交歓会

「2024年問題」解決へ

政府が相次いで支援施策

が新年のあいさつ(一面掲載)に立ち、まず能登半島地震などによる犠牲者に哀悼の意を表した上で、トラック運送業界をめぐる経営環境や直面する課題に言及。

コロナ禍の収束に伴い、経済活動が活発化しつつあるが、業界では「燃料価格の高騰と今後の高止まりもあって需要が思うように伸びず、非常に厳しい経営環境に直面している」と指摘。

加えて、今年は時間外労働の上限規制や厳格化された改正「改善基準告示」の適用を控え、「労働力の確保や輸送力の維持に苦慮されていると拝察する」とした。

東京都トラック協会をはじめ、東京都トラック交通遺児等助成財団・東京都トラック運送事業協働組合連合会・陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京都支部会の業界4団体は1月12日、千代田区の帝国ホテル東京で、令和6年「東京トラック業界新年交歓会」を開催した。

冒頭、主催者を代表して、東ト協の浅井隆会長

社会を支えるトラック輸送

浅井会長

来賓あいさつ

東京都の小池百合子知事は、能登半島地震被災地への支援物資輸送に感謝の意を示し、「私たちの生活は、トラック業界のご尽力を支えられていることを改めて感じている」と述べた。

また、業界を取り巻く経営環境が厳しい状況にあることを踏まえ、令和4年度に続き、5年度も燃料価格高騰に対する支援措置を講じているとし、活用を呼びかけた。

こうした労働時間規制に伴い、物流危機が懸念される「2024年問題」に対処するため、政府は業界を全面的にバックアップする施策を次々と打ち出しているが、それは「トラック運送事業が都民生活の維持や企業活動の発展に欠くことのできないものだからに他ならない」と強調。

その上で、「物流を止めないためには、物流の最前線で働くトラックドライバーの労働環境の改善と社会的地位の向上が不可欠」と訴え、その実現に向けて関係4団体が一致団結し、直面する課題解決に取り組むと決意を表明した。

東ト協連の椎名幸子会長は、東ト協の旗印を掲げ、その実現に向けて関係4団体が一致団結し、直面する課題解決に取り組むと決意を表明した。

その上で、未来の東京戦略の一環として交通・物流ネットワークの強化を掲げているとし、交通渋滞の解消や環境負荷の少ない都市の実現に向け、取り組みを加速していく考えを示した。

さらに、業界が直面する「2024年問題」に関する「2024年問題」に言及。都として、「物流の効率化や消費者の行動変容に取り組み」とし、来年度予算についても「2024年問題を含め、都民の利便性とトラック業界の皆様のニーズが合致するよう予算とした」と述べた。

また、業界を取り巻く経営環境が厳しい状況にあることを踏まえ、令和4年度に続き、5年度も燃料価格高騰に対する支援措置を講じているとし、活用を呼びかけた。

具体的には、「標準的な運賃について年度内の告示改正に取り組み」とも、トラックGメンによる悪質な荷主などへの是正措置を講じ、労働条件の改善を図っていくと強調。

さらに、多重下請構造を是正するための運賃体制可視化、適正な運賃収受を図る措置、荷待ち時間削減などの義務付けなどに関し、次期通常国会での法制化に取り組む方針を示した。

また、警視庁交通部の吉田知成参事官は交通事故の発生状況について、都内でも事故死者数が増えていると説明。事故の割合が高い自転車や電動キックボードなどについて、早期に交通秩序を確立する必要があると指摘した。

このため、同庁では今年も「世界一の交通安全都市TOKYOをめざして」をスローガンとして、事故抑止に向けて強力に取り組むと説明。あわせて業界に対して「培ってきた豊富な知識と経験を生かし、一般ドライバーの模範となる運転を推進

岩田・鈴木両財団に 寄付金贈呈で感謝状



警視庁高速隊

岩田文化事業財団(岩田敏雄代表理事)と鈴木助成財団(椎名幸子理事長)は、このほど、警視庁

高速道路交通安全警察隊長から感謝状を受領した。

両財団は、東京都高速道路交通安全協議会の事故防止活動などを支援するため、寄付金を贈呈し

貢献したことに對して、感謝状が贈られた。また、同15日には鈴木助成財団の椎名氏(東京都トラック運送事業協同組合連合会会長)が、服部隊長から感謝状を受領した(写真②)。

気付きにくい視覚障害 眼底検査の実施が重要

東ト協は1月10日、東ト総合会館で、「運転業務に関する眼疾患セミナー」を開催し、日本眼科医会理事で川添丸山眼科院長の丸山耕一氏が「運転業務と目の健康 事故防止に向けて眼病の早期発見を」と題して講演した。

丸山氏は、運転者の高齢化と視覚特性、目の健康不安として、白内障を原因とするものや加齢による衰えなどについて解説。目の健康状態は視力測定だけで評価できるものではないと述べた。

その上で、業界が直面する課題として、輸送現場で「頑張っているドライバーの皆さんが、自信と誇りを持って仕事に従事できるような環境をつくること」が重要。今年こそ正念場を迎えており、全国の事業者としっかりと手を携えて取り組んでいきたいと述べた。

運転業務に関わる 眼疾患セミナー

東ト協

策定するなど、眼疾患対策が重要視されていることから、同セミナーを実施した。

東ト協

ドラコン出場選手を募集

第45回

2月1日受付開始
東ト協は2月1日から、協会ホームページ(HP)で、令和6年度・第45回「東ト協ドラコン」の受付期間を3月19日まで、これに続いてプロトラックドライバー日本一を目指して、多くのドライバーが積極的に参加するよう呼びかけている。開催概要日程・会場は、次の通り。

【学科競技】
4月18日(木) 13時30

開催日程	
学 科	4月18日
実 科	5月19日
表彰式	5月24日

▽個人表彰
各部門を通じて最優秀者と各部門優勝者のほか、各部門の上位5位までの者を表彰
▽事業所表彰
最優秀者の所属事業所を表彰
詳細は、東ト協HPを参照(本号に募集案内チラシを同封)。
▽問い合わせ先「東ト協業務部交通・環境G」
03・3359・3618

【実科競技】
5月19日(日)8時から
警視庁府中運転免許試験場
※中止の場合、学科競技の成績順で優勝者を決定する
【表彰式】
5月24日(金)14時30分
から「東ト協総合会館」

【表彰】
参加希望者が複数名に満たない部門については、競技・表彰・全国大会選手推薦は行わない。



また、1月9日に都水道局の要請を受け、10日に港支部から10トトラック1台、同

被災直後から各支部では、各区をはじめ地元自治体からの要請を受け、それぞれ救援物資輸送を実施。板橋支部(5・10日)板橋区/金沢市、文京支部(5日)文京区/鳳珠郡能登町、足立支部(9・11日)足立区/七尾市、墨田支部(15日)墨田区/輪島市、深川支部(11日)江東区/金沢市、品川支部(20日)品川区/輪島市、多摩支部(20日)府中市/七尾市、杉並支部(22日)杉並区/七尾市)から、2トトラック9台、4トトラック5台、7トトラック1台、10トトラック1台が出勤。飲料水、アルファ化米、トラックカー、ウエットシート、トイレシート、パーカー、カイロ、毛布、ブルーシート、カセットコンロ、ガスボンベなどの救援物資を輸送した。

被災地には救援物資輸送を相次いで実施し、ライフラインの役割を果たした。甚大な被害の発生を受けて、被災地を支援するた

被災直後から各支部では、各区をはじめ地元自治体からの要請を受け、それぞれ救援物資輸送を実施。板橋支部(5・10日)板橋区/金沢市、文京支部(5日)文京区/鳳珠郡能登町、足立支部(9・11日)足立区/七尾市、墨田支部(15日)墨田区/輪島市、深川支部(11日)江東区/金沢市、品川支部(20日)品川区/輪島市、多摩支部(20日)府中市/七尾市、杉並支部(22日)杉並区/七尾市)から、2トトラック9台、4トトラック5台、7トトラック1台、10トトラック1台が出勤。飲料水、アルファ化米、トラックカー、ウエットシート、トイレシート、パーカー、カイロ、毛布、ブルーシート、カセットコンロ、ガスボンベなどの救援物資を輸送した。

能登半島地震

被災地に救援物資輸送

東ト協

本部・支部が迅速に対応

ク1台、同じく12日の要請により、15日に大田支部から4トトラック1台、19日に港支部から4トトラック1台がそれぞれ出勤。同局芝清水所から、輪島市の上下水道局、輪島市役所門前総合支所、輪島市サン・アリーナへ、組立式仮設水槽や応援職員用宿泊資機材、事務用品などを輸送した。

トラック事故速報

死亡事故

○交差点で左折する際は、横断歩道や停止線の手前でいつでも停止できる速度に減速、または一時停止を行うとともに、指差し呼称等による進行方向の安全確認を徹底すること。

日時	1月10日(水) 10時32分頃発生(晴天)
場所	大田区内(環七通り)
当事者	①歩行者(男性80代死亡)×②事業用大型貨物車(男性40代) ※歩行者は歩道の横断歩道を横断中、歩行者は歩道の横断歩道を横断中、歩行者は歩道の横断歩道を横断中
状況	至大井町 大田区大森本町 至平和島 至蒲田
概要	信号機のある交差点で事業用大型貨物車が、第一京浜から環七通りへ左折進入した際、横断歩道を左方から右方へ進行していた歩行者と衝突し転倒させ、轢過したものの、歩行者は歩道の横断歩道を横断中、歩行者は歩道の横断歩道を横断中、歩行者は歩道の横断歩道を横断中

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

違反別		営業用トラック関与の交通事故																令和5年12月末 年間累計					
発生 件数		安全 不確認	前方 不注意	交差点 安全進行	歩行者 妨害	一時 不停止	ハンドル ブレーキ	信号 無視	徐行 違反	右左折	その他	計											
		1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数	1当件数							
大型	関与事故件数	104	71	27	8	0	18	5	0	0	60	293	102	53	37	8	0	18	6	0	124	348	
	(前年比)	-8	+10	-1	-2	-1	+3	+4	±0	±0	+3	+8	-8	+10	-1	-2	-1	+3	+4	±0	+3	+8	
	関与事故件数	72	46	19	12	0	19	5	0	0	48	221	73	43	25	12	0	18	6	0	100	277	
	(前年比)	+8	-20	-3	+3	-1	+0	-3	+0	-1	-2	-19	+8	-20	-3	+3	-1	+0	-3	+0	-1	-19	
中型	関与事故件数	139	109	49	8	3	27	12	0	1	88	436	146	104	62	8	3	24	12	1	219	580	
	(前年比)	+24	+21	-2	-12	-1	-4	+6	-1	+1	+21	+53	+24	+21	-2	-12	-1	-4	+6	-1	+21	+53	
	関与事故件数	454	225	178	29	23	57	19	3	1	146	1,135	485	212	233	29	21	52	20	6	463	1,522	
	(前年比)	+43	+36	-1	-11	-3	+9	+5	+4	-2	-93	-13	+43	+36	-1	-11	-3	+9	+5	+4	-2	-93	-13
普通 軽	関与事故件数	769	451	273	57	26	121	41	3	2	342	2,085	806	412	357	57	24	112	44	7	2906	2,727	
	(前年比)	+67	+47	-7	-22	-6	+8	+12	+3	-2	-71	+29	+67	+47	-7	-22	-6	+8	+12	+3	-2	-71	+29
	大型貨物車(1当)	1	1	3	1	0	0	0	0	0	3	9	1	1	3	1	0	0	0	0	0	3	9
	中型貨物車(1当)	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
死者 数	準中型貨物車(1当)	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	6	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	6
	普通・軽貨物車(1当)	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。



関東交通共済協同組合

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで
TEL：03-5337-1754
MAIL：ansui@kankokyo.or.jp

関交協
オリジナル
冊子

トラックドライバー

のための

危険予知トレーニング

関交協では、運送事業者の皆様とともに交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。

当組合発生のお事故事例の類似交通場面を画像で例示し、分析＆解説した冊子を作成いたしました。

国土交通省 事業用自動車総合安全プラン2025の施策でも挙げられた、取り組むべき課題「危険予知トレーニング用視聴覚教材による事故防止活動の推進」に則した指導・教育に本冊子をご活用ください。



関東交通共済協同組合

事故防止対策支援推進事業(補助)

国交省
5年度

JATAが受付

国土交通省は、令和5年度「事故防止対策支援推進事業」のうち、先進安全自動車(ASV)の導入と、過労運

転防止のための先進的な取り組みに対する支援について、補助申請(実績申請)の受付期間を延長した。能登半島地震の影響を踏まえ、期限を2週間延長したもの。

これに伴い、執行団体の日本自動車輸送技術協会(JATA)が2月14日まで申請受付を行っている(申請総額が予算額に達し次第「受付終了」)。

補助対象事業者は、一般貨物自動車運送事業者などの中小企業者およびリース事業者。トラック事業者に対する



ASVやI-T点呼機器申請2月14日まで延長

たは国交省ホームページを参照。



送などの運転者と同様、

造のもの以外(車両を除く)に引するものを除く)について、高速自動車国道の本線車道などを通行する場合の最高速度を、現在の毎時80キロから90キロに引き上げる。

意見募集を経て道交法施行令を改正し、4月1日から施行する予定。

また、被災地における支援物資などの一時的な輸送体制確保のため、臨時の活動拠点設置に関する、災害時特例による取り扱いを行うこととした。地震被害などにより、機能不全となった営業所に代わる臨時の活動拠点について、営業所配置換えの手続きを不要とするもの。

また、被災地における支援物資などの一時的な輸送体制確保のため、臨時の活動拠点設置に関する、災害時特例による取り扱いを行うこととした。地震被害などにより、機能不全となった営業所に代わる臨時の活動拠点について、営業所配置換えの手続きを不要とするもの。

また、被災地における支援物資などの一時的な輸送体制確保のため、臨時の活動拠点設置に関する、災害時特例による取り扱いを行うこととした。地震被害などにより、機能不全となった営業所に代わる臨時の活動拠点について、営業所配置換えの手続きを不要とするもの。

回答期限2月25日

国土交通省は「標準的な運賃」告示制度(令和2年4月告示)の浸透・活用状況などの実態把握するため、貨物自動車運送事業者を対象にWebアンケート調査を実施している。これ

国交省「標準的な運賃」Webアンケート調査



アンケートサイト2次元コード

法定速度引き上げ

型車
大貨物車

警察庁 政令改正案で意見募集

警察庁は、高速道路における大型貨物自動車などの法定速度引き上げに向けて、「道路交通法施行令の一部を改正する政令案」に対する意見募集を行っている。募集期間は2月10日まで。

同庁は、政府の「物流革新に向けた政策パッケージ」に、大型貨物車などの法定速度引き上げが盛り込まれたことを受け、「高速道路における車種別の最高速度の在り方に関する有識者検討会」を設置して検討。同検討会が昨年12月にまとめた提言で、時速90キロへの引き上げが可能とされたことを受け、道

軽貨物の安全対策強化 管理者選任を義務化へ

国交省
管理者選任を義務化へ

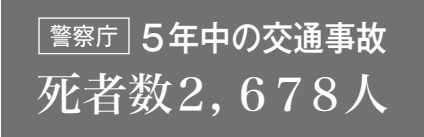
国土交通省物流・自動車局は、貨物軽自動車運送事業者に対する安全対策として、「貨物軽自動車安全管理者」(仮称)選任に当たり受講する必要がある「管理者講習」と、新たな制度導入を検討している。

また、死傷者を生じた事故など一定規模以上の事故を起こした場合、運輸局・運輸支局を通じて国交大臣への報告を義務付け、事業者に対して発出した輸送の確保命令や行政処分情報など安全情報をもホームページで公表する。

一方、軽貨物車の運転者に対して、一般貨物運送などの運転者と同様、

造のもの以外(車両を除く)に引するものを除く)について、高速自動車国道の本線車道などを通行する場合の最高速度を、現在の毎時80キロから90キロに引き上げる。

意見募集を経て道交法施行令を改正し、4月1日から施行する予定。



8年ぶりに増加

警察庁によると、令和5年中の交通事故死者数は、(24時間以内)は2,678人で、前年より68人(2.6%)多く、8年ぶりに増加した。

死者数を月別にみると、多い順に①12月300人、②11月254人、③10月252人で、年末にかけての時期が多い傾向にある。

都道府県別では、多い順に①大阪府148人(前年比7人増)、②愛知

り、軽貨物車による運送需要は増加しているが、その一方で、死亡・重傷事故が大幅に増加している。このため、政府の「物流革新に向けた政策パッケージ」で、「軽トラック事業の適正運営や安全確保」が盛り込まれ、これに伴い新たな安全対策を検討しているもの。

新たな制度案に関して、次期通常国会への法案提出も含めて検討中。

能登半島地震で措置 迅速に特車許可

被災地域の早期復旧や物流確保

国土交通省は「令和6年能登半島地震」の発生に伴い、特殊車両通行許可事務の取り扱いについて、被災地発・着の貨物の運搬などである場合、最優先で迅速に処理することにした。

また、被災地における支援物資などの一時的な輸送体制確保のため、臨時の活動拠点設置に関する、災害時特例による取り扱いを行うこととした。地震被害などにより、機能不全となった営業所に代わる臨時の活動拠点について、営業所配置換えの手続きを不要とするもの。

向ファイル

令和5年
12月分

国土交通省、大型トラックの車輪脱落事故が相次いでいることから、評価結果を公表。新規・更新合計で9489事業所を認定し、これにより、

作業等の実施について」を発出。あわせて、車輪脱落事故防止に関する一斉点検を求める(1日)

経済産業省・公正取引委員会、約1700の関係事業者団体に対し、

経産大臣と公取委員長の連名による要請「下請取引の適正化について」を発出。積極的な価格交渉と価格転嫁を行うとともに、下請事業者への不当なしわ寄せが生じないよう求める(8日)

東京都トラック協会、令和5年度第1回交代金事業審議委員会を開

催し、実施計画策定の基本的な考え方と方向性を承認。業界が直面する課題解決に向けて新規事業を積極的に検討する一方、執行率の低い既存事業は縮小・廃止を含めて必要な見直しを行う方針(12日)

国交省、「標準的な運賃・標準運送約款の見直しに向けた検討会」が取りまとめた提言を公表。大型貨物自動車などの法定速度について、時速90キロに引き上げても交通の安全に大きな影響はないと提言する(22日)

警察庁、「高速道路における車種別の最高速度の在り方に関する有識者検討会」が取りまとめた提言を公表。大型貨物自動車などの法定速度について、時速90キロに引き上げても交通の安全に大きな影響はないと提言する(22日)

辰年は明るく希望の年に

ここ数年、世間の空気感を重くしていた「コロナ禍」を経て、明るさを取り戻す中で迎えた辰年。辰は十二支では東南東を指し、季節は旧暦3月、時は午前8時、そして陰陽の陽だから、明るい気持ちにさせてくれる。辰は昇龍のイメージと重なり、希望を抱かせてくれる。

龍は日本で古くから知られていたように、弥生時代の土器の文様や、古墳時代では三角縁神獣鏡の鏡面の文様、高松塚古墳やキトラ古墳の四神の一つとして青龍が描かれている。さらには、平安京の京師のあちこちで、その名を見ることができた。

龍は中国で生まれた想像上の動物で、あらゆる動物の祖であり、造物主たる神のような存在であったという。その後、龍が皇帝の衣服の意匠に用いられるようになり、権力者のシンボルに転化していった。皇帝は臣下に褒美として、龍の文様の服を下賜したりもした。

その後、龍の文様が庶民の間にも広がりを見せるようになり、権威を確立するため、元の時代には使用への規制が行われ、「五爪二角の龍の文様」を皇帝専用とした。

そうしたことを考えていたら、「龍の爪」の話を思い出した。以前、京都の禅宗の本山寺院が行った、古刹大寺の龍の天井画

5000頭の龍が舞う運氣を求めて



日本最大級の道教の神社「聖天宮」

も思われていた聖地。そこで、空海とライバルの守敏大徳との雨乞いの法力争いが行われた。結末は空海の法力が勝り、池の中の龍王龍女が金色の光をひいて天に飛び上がったいき、神泉苑に雨が降り始め、天気続きで悩まされた京の都に雨の恵みをもたらしたという。

そうした靈験のあらたかな龍の力を感じてみようと思いいち、出掛けてみた。東武東上線の若葉駅東口から、駅を背に一直線に伸びる道を公園や工業団地の中を約2.5キロ進むと、突然、黄色い屋根瓦の異国風の建物が目につく。5000頭の龍が昇る神社、聖天宮(埼玉県坂戸市塚越)だ。日本最大級の道教の神社(道観)である。1995年に台湾出身の貿易商が建立したもので、木材や石材などを台湾で加工し、日本で組み立てた。

まず大門、前殿や本殿の屋根を飾る大きな龍が目に入ってくる。そして、天井、柱、香炉台など、どこを見ても龍がいる。本殿を支える、台湾の観音山で取れる石を使った柱「龍鳳柱」は5本ある一本の石で、龍や鳳、牡丹、梅など多くの彫刻が施されている。本殿前の一枚の岩から彫られた「九龍網」



一枚の岩から彫られた「九龍網」

から彫られた九頭の龍の「九龍網」は、神の威令と恩恵のすべてを網羅するという。境内を巡って、これだけの龍を見る場所はないだろうと実感する。2024年を迎える年末年始はコロナ禍が収まり、賑わいを取り戻したせい、ついこの前までのことを忘れがちだが、新年早々の能登半島地震で、そうした浮ついた気分を戒められた気がした。そもそも、龍は古くから、大地の震動とも深くかわつていたことを思い起こさせる。

浮かれ気分だけでは



本殿の屋根を飾る大きな龍

台湾の観音山で取れる石を使った柱「龍鳳柱」は5本ある一本の石で、龍や鳳、牡丹、梅など多くの彫刻が施されている。本殿前の一枚の岩から彫られた「九龍網」

ポケット

夜の海岸に天を突く炎



幻想的な大磯の左義長

言われています。大磯駅前のお店では、2月ほどの竹を売っていて、家族連れや仲間同士が片手に持ちながら海に向かいます。火の勢いが収まってくる、地元の人々が先ほどの竹をわらなどで囲った円錐型のサイトが九つ用意されていました。正月の飾り物や、だるまなども周りに置かれ、日が暮れると一斉に火が点けられます。当日はとも風が強く、大火事に巻き込まれたかと錯覚するくらい勢いで、火の粉が舞う中、大声で泣いている子もいました。こまで火力が強いほど焼きは初めてでした。

海岸には、7メートルを超える青竹を真ん中に据え、周りをわらなどで囲った円錐型のサイトが九つ用意されていました。正月の飾り物や、だるまなども周りに置かれ、日が暮れると一斉に火が点けられます。当日はとも風が強く、大火事に巻き込まれたかと錯覚するくらい勢いで、火の粉が舞う中、大声で泣いている子もいました。こまで火力が強いほど焼きは初めてでした。



その頃には、ふんどし丁の青年団が掛け声とともに海に入り、疫病神が押し込められているという綱のついた「仮宮」を海に引き入れ、海側と陸側で綱引きが始まります。その後、仮宮は踏みつぶされ、疫病神を退治します。冬の暗い海岸に天を突くかのような火の手がいくつもあがり、多くの人たちが見守る姿は幻想的であり、印象に残る火祭りでした。

国内最大・最高層 木造ビルが着工

現存する世界最古の木造建築物とされる奈良県の法隆寺。ユネスコの世界文化遺産に日本で初めて登録された。建立は607(推古15)年。落雷による火災に遭った後に再建され、約1300年

日本橋本町一丁目3番計画



あちこち 300年以上にわたる歴史を刻んでいます。高尾山口駅など巨大な木造建築物が建築されています。さらに、木造ハイブリッド

国内では、新国立競技場や京王線高尾山口駅など巨大な木造建築物が建築されています。さらに、木造ハイブリッド

た。国内最大・最高層となる地上18階、高さ84メートルの高層木造ビルが建設されています。

日本橋本町一丁目3番計画(仮称)
住所: 中央区日本橋本町1丁目

株式相場の

格言では「辰巳天井」といわれ、辰年や巳年は株価が高値をつける年回りとされる◆経済3団体の新年会に出席した証券大手トップからも、強気な見立てが相次いだ。日経平均で4万円台に乗る可能性があるという。それも束の間、東証の株価は連日、バブル期後の高値を更新し、「辰巳天井」の様相だ◆政府が旗を振る賃上げでも、大企業トップからは前向きな発言が聞かれた。30年ぶりで3%台となった昨春以上の賃上げ、さらには10%程度の賃上げを検討している企業も。当然、景気動向を判断してのことであり、先行きに期待を抱かせる◆ただ、景気は好転の実感に乏しく、実質賃金は物価高で目減りし、依然マイナスで推移している状況。それを脱するには賃上げの流れがどの程度、中小企業まで波及するにかかると。少なくとも、コスト上昇分の価格転嫁が思うに任せないようでは、中小の賃上げには自ずと限界がある◆政府が掲げる「デフレ完全脱却」の実現に向けて、大企業には自社の賃上げと同様、下請企業への転嫁対応においても前向きな姿勢が望まれる。